

基本施策 1 安心して子どもを育てられる環境づくり【子育て】

主要施策 1 結婚・出産・子育て支援の充実

施策の基本方針(5年後の目指す姿)

- 次の時代を築いていく子どもたちを安心して産み、健全に育てることができる環境づくりを推進するとともに、虐待・不登校・ひきこもりなどの問題に対する適切な対応と支援体制の充実を目指します。

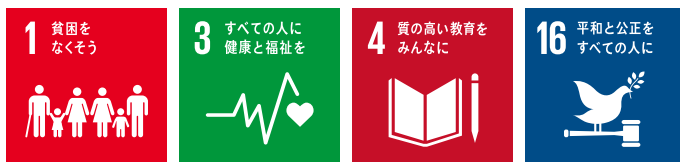
【施策の目標値(主要施策)】

項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
出産や子育て支援サービスの満足度	子ども・子育て支援に関するアンケートにおける回答の割合	75.5%	80.0%以上

現状と課題

- ①少子化の要因の一つである晩婚・未婚化対策として、独身男女の出会いの場を創出していますが、成婚につながる事例が少なく、成婚数は減少傾向にあります。このため、若者の結婚に対する意識の高揚を図るとともに、マッチングに結び付きやすい出会いの機会の提供や結婚支援に取り組む団体等の育成等により、結婚を促進していく必要があります。
- ②子育て世代包括支援センターを中心に妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行っていますが、核家族化の進行や地域とのつながりの希薄化等により、妊産婦が孤立して悩みを抱えてしまうケースがあります。また、本市には出産できる医療機関がない状況にあることも踏まえて、妊娠、出産時の妊産婦の不安の軽減を図るとともに、育児に取り組む保護者に寄り添った支援と相談体制の充実を図る必要があります。
- ③核家族化の進行や共働き家庭の増加等により、子育てにかかる経済的な負担の軽減と仕事等との両立に対して不安を抱える保護者の子育て支援に対するニーズが多様化していることから、一人ひとりの生活の実態や環境に応じて子育て支援の充実を図っていく必要があります。また、放課後児童クラブの需要が高まり施設が手狭になっていることや、ファミリー・サポート・センターのサービス提供会員の高齢化・固定化などの課題に対応しながら、子育てしやすい環境の充実を図っていく必要があります。
- ④児童虐待は、本市においても全国的な傾向と同様に増加しています。虐待の発生を極力減らしていくためには、子育てに負担と不安を持つ保護者を早期に発見し、事案が発生した場合には、子どもの安全確保を最優先し、関係機関と連携して早期解決に向けた対応を図る必要があります。また、児童生徒の不登校については、長引くことでひきこもりやニートに移行し、短期間で解決が困難な状況になる場合もあることから、学校や関係機関などと連携を図り、早期に本人や保護者に寄り添った支援を行う必要があります。

## 《 関連するSDGsの目標 》



### 施策の内容

#### ①結婚活動への支援の充実

- 結婚に関する情報発信や結婚相談、セミナーの開催などにより、未婚者の結婚に対する理解や意欲の高揚を図ります。
- マッチングイベントの開催や県のマッチングシステムへの登録・活用促進などにより、出会いの機会の拡大を図ります。
- 結婚を希望する人を支援するサポーターを育成するとともに、出会い応援企業や市民活動団体等との連携を強化し、結婚支援体制の充実を図ります。

#### ②妊娠・出産に対する不安の解消

- 妊産婦全員の支援台帳の作成や妊婦が見通しを持って安心して出産、産後を迎えられるよう個々の状況に応じた支援プランの策定などにより、妊娠・出産から育児にわたり、個々の状況に応じた切れ目のない支援を行います。
- 子どもを持ちたいと思いつつも不妊等に悩む夫婦や、出産のための通院等に不安を抱える夫婦が、安心して出産を迎えられるような支援の拡充を図ります。

#### ③安心して子どもを育てられる支援の充実

- こども医療費や保育料等の無償化、所得などに応じた放課後児童クラブや病児・病後児保育室の利用料の減免等により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。
- 児童が安全で快適に過ごすことができるよう、放課後児童クラブの充実を図るとともに、子育て世代が集い、交流できる場などの整備に取り組みます。
- 地域ぐるみで子どもを育てる意識を高め、積極的に子育てへのサポートに参加していただくかたを増やし、子育て環境の充実を図ります。

#### ④要保護児童等への支援

- 家庭児童支援専門員や保健師、保育士等の活動を通じて子育てに悩む保護者を早期に発見し、適切な支援を行い、虐待の未然防止に努めます。
- 学校やこども園・保育園の職員だけでなく、市民が虐待の早期発見と適切な対応方法を学ぶ機会を設け、市民ぐるみで虐待予防の意識高揚に努めます。
- 学校の教職員やスクールソーシャルワーカー、子ども・若者支援専門員が情報を共有し、連携を図って、不登校児童生徒に対して、実情に応じた適切な対応を図るとともに、ひきこもりやニートのかたに対しても、家庭環境等を見極めながら、社会復帰に向けて一人ひとりに寄り沿った支援を行います。

#### 【 施策の目標値(施策の内容) 】

番号	項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
①	市の事業を通じての成婚数	マッチング支援等の市の事業を利用したかたの成婚数	—	20組以上
②	安心して妊娠・出産を迎えられる妊婦の割合	出生届出時のアンケートによる回答の割合	—	100%
③	ファミリー・サポート・センターのサービス提供会員数	ファミリー・サポート・センターのサービスを提供できる会員数	165人	200人以上
④	虐待案件の解決数	要保護児童対策地域協議会の虐待案件の解決数	13件	20件以上

### 関連する個別計画

- 第2次妙高市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)

### 施策の基本方針(5年後の目指す姿)

- 乳幼児期の児童の健やかな成長に必要な幼児教育・保育サービスを提供するため、保護者や地域、学校、関係機関と連携を密にしながら、安全・安心な教育・保育環境の整備を目指します。

### 【施策の目標値(主要施策)】

項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
園運営に満足している保護者の割合	保護者アンケートにおける回答の割合	96.8%	100%

### 現状と課題

- ①幼稚園・保育園整備構想に基づく保育園等の統合・移転整備を行い、幼児教育・保育環境の改善、充実に取り組んできました。今後も施設の老朽化への対応や園児数の推移を見据えた園舎整備と計画的な改修整備や備品の更新等を行い、安全で快適な保育環境の維持に努める必要があります。また、国が実施する幼児教育・保育の無償化と連動した保育料の見直しを進めるとともに、慢性的な保育士不足を解消するための対策に取り組む必要があります。
- ②保育サービスの向上に努めてきた結果、保護者から一定の高評価を得られていることから、引き続き、保育士の資質向上や園活動の特色化と充実、保護者の多様なニーズへの対応を図ります。また、生活習慣や食習慣に課題があるなど、きめ細やかな支援が必要な児童、家庭が見受けられることから、生活習慣等の改善に向けた対応や、個別の支援・指導を強化していく必要があります。

### 施策の内容

#### ①安全・安心な教育・保育環境の整備

- 第三保育園・斐太南保育園・矢代保育園の統合整備を計画的に進めるとともに、安全で快適な保育環境を維持するため、幼児教育・保育施設の長寿命化計画を策定し、計画的かつ効率的な改修・整備を行います。
- 再任用保育士を効果的に配置するとともに、保育士資格の取得支援をはじめ、正規保育士の採用年齢の引上げや働きやすい職場環境の整備、処遇改善などにより、保育人材の確保に積極的に取り組みます。
- 国の子ども・子育て支援施策との整合性を図りながら、3～5歳児の保育料の無償化を実施するとともに、入園が増加している0～2歳児において、待機児童が発生しないよう子育て支援策の改善等に努めます。

## 《 関連するSDGsの目標 》



### ② 健やかな幼児を育む教育・保育サービスの提供

- 自然環境を活かした体験活動や地域と連携した「ほんもの教育」をはじめ、地域の特色・人材を活かした活動を積極的に取り入れながら園活動の充実を図り、豊かな人間性や郷土愛を育みます。
- コミュニティ・スクール事業等を活用しながら、地域ぐるみで子育てを応援する体制づくりや災害発生時の支援体制づくりを進めます。
- こども園・保育園と早期療育施設ひばり園、小学校、地域が連携し、特別な支援を必要とする児童が進級時にスムーズな移行が図られるよう、相互訪問や連絡会による情報の共有と確実な引継ぎなどによる、継続的な支援を行います。
- 就労環境の変化などにより多様化する保護者のニーズを把握し、的確に対応するよう、夜間保育などの保育サービスの提供について検討します。
- 年齢や発達段階に合わせた食育教室を実施し、保護者に対する生活習慣や食習慣の重要性についての啓発を行うとともに、肥満ややせの園児とその保護者への個別指導を強化します。

#### 【 施策の目標値(施策の内容) 】

番号	項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
①	園舎整備率	幼稚園・保育園整備構想に基づく園舎整備率	70.0%	100%
①	待機児童の発生人数	待機児童の発生人数	0人	0人
②	標準的な体格の園児の割合	肥満度-15%～+15%の園児の割合	94.9%	97.0%以上
②	朝食の欠食率	3～5歳児の朝食の欠食率	1.0%	1.0%以下

#### 関連する個別計画

- 第Ⅳ期妙高市総合教育基本計画(令和2年度～令和6年度)



## 基本施策2 質の高い教育環境づくり【教育】

### 主要施策1 健やかな心と体の育成

#### 施策の基本方針(5年後の目指す姿)

- 子どもたちが心身ともに健康で、変革の激しい社会でたくましく生き、様々な困難を乗り越え、自他のいのちを大切にし、他者と協力して問題を解決していこうという豊かな人間性を育むための教育環境づくりを推進します。

#### 【施策の目標値(主要施策)】

項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
いじめが解消された割合	学校調査によるいじめ発生件数に対する3カ月以上観察後の解消件数の割合	97.3%	100%

#### 現状と課題

- ①これまで、地域資源を活かした自然体験、飼育栽培活動等の体験学習を児童生徒の成長段階に応じて学習に取り入れ、生きる力の醸成に取り組んできました。近年の急速な少子高齢化やICTの進歩などにより、社会変革が続くことが予測されることから、これらの体験学習を通じて、地域に根差し自ら主体的に学び、他者と協力しながらたくましく生きる力を育むことの必要性が高まっています。また、第二次世界大戦の終戦から70数年が過ぎ、戦争を実体験した世代の減少によって戦争記憶の風化が進んでいる中、児童生徒の平和に関する意識の高揚を図り、戦争を繰り返さない決意を次世代に引き継いでいく必要があります。
- ②インターネットやSNSといった新たなメディアが社会的に広がりを見せる中、判断力が十分に醸成されていない児童生徒がトラブルに巻き込まれやすい状況にある上、ネットいじめなどの新しい問題の発生も憂慮されていることから、これらの課題に対応した情報モラル教育の充実に努めていく必要があります。また、いじめの防止と解消に向けては、教育委員会と小中学校の連携した取組により迅速に対応していますが、いじめはどこの学校でも起こりうる問題であり、国内ではいじめを原因として自死するケースも数多く発生しています。さらなるいじめ防止や早期解消に向けて、家庭や地域、関係機関との一層の連携強化、協力体制づくりが必要です。
- ③市内の小中学校では、肥満傾向にある児童生徒の割合が新潟県内の平均的な割合を上回る傾向となっています。肥満傾向の児童生徒は、将来、生活習慣病疾患の可能性が高いことから、早期の対策を講じる必要があります。また、食物アレルギーを持つ児童生徒については、対応を誤ると重大な事故につながる可能性もあることから、個々の症状に応じて適切に対応していく必要があります。

## 《 関連するSDGsの目標 》



### 施策の内容

#### ① 体験学習の充実による「ほんもの教育」の推進

- 感動体験や多少の困難を伴う体験をはじめ、地域文化を活かした活動や地域住民と連携した活動での学びを通し、郷土妙高の様々な資源を取り入れた「ほんもの教育」に重点を置いた学習活動を推進します。
- フレンドスクールやキャリア教育、宿泊施設におけるおもてなし体験、スキー場に訪れる外国人観光客との交流など、地域や他者との関わりを学ぶ取組を継続し、コミュニケーション能力や社会性の向上、地域愛の醸成を図ります。
- 戦争の悲惨さや平和の尊さなどを学び、その想いを次世代に引き継いでいくため、小中学校における平和に関する体験学習などの平和学習を継続します。

#### ② 情報モラル教育の推進といじめの防止・解消

- 情報モラルやメディアの危険性への対応として、児童生徒に携帯電話やスマートフォンを原則持たせない運動を継続するとともに、児童生徒自身や保護者に対して、メディアの利便性に潜む危険性や情報モラル、マナーについての指導、啓発を行い、ゲーム等身近なものを含め、インターネットに接続できる様々な機器に対する自発的な行動を促します。
- いじめの解決に向けて早期発見、早期対応による初期段階での速やかな取組を進めるため、定期的に各小中学校における調査によりいじめの現状把握に努めるほか、いじめ防止講習会を開催し、早期発見・予防啓発に努めます。
- インターネット上での情報流出やいじめなど、学校運営にあたって生じる様々なトラブルに対して適切に対応するため、スクールロイヤー\*の設置など、法的な相談ができる体制づくりに努めます。

#### ③ 健やかな体を育むための支援の充実

- 子どもたちの健康な体を育むため、学校と家庭の連携により、基本的な生活習慣、望ましい食習慣の定着を図るとともに、肥満の状態が著しい児童生徒とその保護者に対する個別指導の強化を図ります。
- 食物アレルギーを持つ児童生徒に対しては、個々の状態を把握した的確な対応による安全・安心な給食の提供に努めるとともに、全職員に対して研修会を開催し、食物アレルギーへの理解促進と対応力の強化を図ります。

#### 【 施策の目標値(施策の内容) 】

番号	項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
①	リーダーシップ能力が向上した児童の割合	フレンドスクールアンケートによるリーダーシップ能力の事前・事後比較	83.8%	87.0%以上
②	児童生徒が関わるインターネットトラブルの件数	児童生徒が関わるインターネットトラブルの発生件数	1件	0件
③	肥満度が20%以上の児童生徒の割合	学校健診による肥満度20%以上の児童生徒の割合	7.4%	7.0%以下

### 関連する個別計画

- 第Ⅳ期妙高市総合教育基本計画(令和2年度～令和6年度)
- 妙高市いじめ防止基本方針(平成26年度～)

\* スクールロイヤー… 学校で起こるいじめや保護者とのトラブル等を法的に解決する弁護士のこと。

## 主要施策2 確かな学力の定着に向けた支援

### 施策の基本方針(5年後の目指す姿)

- 将来の社会で自立できる基礎的な学力や論理的な思考能力、実体験による学習を取り入れた英語力を養成し、情報化・グローバル化が進展し続ける社会で役立つ学力の定着を目指します。

### 【施策の目標値(主要施策)】

項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
全国学力テスト等の得点率が全国平均以上の科目の割合	全国学力テスト等の得点率が全国平均以上になった科目数が全体の科目数に占める割合	91.7%	100%

### 現状と課題

- ①教研式全国標準学力検査では、市内の小中学生の学力は、全国平均を上回る状況にありますが、教科の特定の領域においては下回るところがあることから、今後も学力の向上を促すとともに、基礎学力の定着化を図っていく必要があります。また、ICTの発達をはじめ、今後さらに発展する情報化社会に対応できる力を養っていく必要があります。
- ②外国人観光客の増加やグローバル化の進展に伴い、外国人と交流する機会や海外で活動する機会が増えていますが、英語力やコミュニケーション能力は十分ではありません。これから世界を舞台に活動していくことになる次世代を担う子どもたちについては、文法や単語の学習といった机上での学習のみではなく、実体験を伴った外国語教育により、英語力やコミュニケーション能力を培っていく必要があります。

### 施策の内容

#### ①基礎学力の向上・定着化の推進

- 各小中学校への教育補助員の配置を継続し、授業効果の向上を図りながら学力の向上につなげていくとともに、放課後などにおける学習支援の実施等により、基礎学力の定着化を図ります。また、小中特別支援学校の教員で構成する妙高市教育研究会との連携・協力による指導方法の研究に努めます。
- 情報化社会に適応するためのプログラミング教育については、妙高市教育研究会と協力しながら策定した「妙高市プログラミング教育ベーシックプラン」に基づいて計画的に取り組み、論理的な思考能力の養成を図ります。
- インターネット利用やデジタル教科書の使用において、必須機器となるタッチパッドについて、各学校における必要台数を確保できるよう、将来の状況を考慮しながら段階的に整備を進め、利便性の向上と同時に、最先端技術を適切に利用できる能力の涵養を図ります。

## 《 関連するSDGsの目標 》



### ② グローバル化に対応する教育の充実

- 小学校の新学習指導要領本格実施による英語の教科化に対応するため、ALT\*を増員して英語を実践する場の充実を図り、英語力やコミュニケーション能力の向上に努めます。
- 小規模特認校においては、ALTや外国語コーディネーターによる指導体制の充実により、日常的に活用できる英語力の定着を図ります。
- 小中学校において、英語の実践力を把握し、適切に育成するため、外国語検定の導入を検討します。
- 幼児期から英語に慣れ親しみ、将来的に海外で活動するために必要な英語力やコミュニケーション能力を習得できるよう、こども園・保育園における外国語活動を導入し、幼児期から小学校、中学校まで一貫した継続性のある英語教育の実現に向けた取組を行います。
- 市内スキー場を訪れる外国人観光客との交流や国際姉妹都市との交流など、外国人と触れ合える場の提供に加え、子どもたちが海外へ行き、生活や文化を肌で感じる機会を拡大し、異文化理解の促進に努めます。

### 【 施策の目標値(施策の内容) 】

番号	項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
①	全国標準学力検査(NRT)の得点率が全国平均を超えた割合(国語)	全国標準学力検査の観点別集計で全国平均を上回った割合(国語)	100%	100%
①	全国標準学力検査(NRT)の得点率が全国平均を超えた割合(算数・数学)	全国標準学力検査の観点別集計で全国平均を上回った割合(算数・数学)	100%	100%
②	全国標準学力検査(NRT)の得点率が全国平均を超えた割合(英語)	全国標準学力検査の観点別集計で全国平均を上回った割合(英語)	100%	100%
②	外国人と関わる活動に参加した児童生徒の割合	外国人と関わる活動に参加した児童生徒数が全児童生徒数に占める割合	13.0%	23.0%以上

### 関連する個別計画

- 第IV期妙高市総合教育基本計画(令和2年度～令和6年度)

\* ALT… Assistant Language Teacher の略で、日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える外国人のこと。



施策の基本方針(5年後の目指す姿)

- 通学時の見守りや通学手段の確保、高等教育の機会提供のための就学支援を通じて、安心して学習できる就学環境を整備するとともに、今後の児童生徒数を見据えた学校の適正配置、施設の長寿命化への対応など、安全で快適な学習環境の確保を図ります。

【施策の目標値(主要施策)】

項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
児童生徒が安全・安心に学習できると感じている保護者の割合	保護者アンケートにおける回答の割合	—	80.0%以上

現状と課題

- ①学校施設の約7割が建築から30年以上経過し、今後の施設改修等で多額の費用が必要となるため、児童生徒数が減少していることを見据えた学校施設の再配置や長寿命化などにより、財政的な平準化を図りながら、安全な学校環境を確保していく必要があります。また、児童生徒の通学にあたっては、今後もスクールバスの運行による遠距離通学者の安全な通学手段を確保するとともに、地域や保護者の連携・協力により、登下校の見守り体制を継続し、通学時の事件や事故の防止に努めていくことが求められています。
- ②学習意欲のある生徒が経済的理由により高等教育への就学を断念することがないよう、就学援助費等の支給や奨学金の貸与などにより保護者の経済的負担を軽減し、就学機会の確保を図っていますが、就学環境は一層厳しくなっていることから、今後も経済的に厳しい児童生徒の保護者に対して、社会経済情勢に沿った支援を行っていく必要があります。

施策の内容

①学校施設の長寿命化の推進と教育環境の充実

- 長寿命化計画に基づき、学校施設の計画的な大規模改修を実施するとともに、児童生徒の心身の状態に応じた教室の改修や備品の更新などを行うほか、熱中症などの猛暑対策として、特別教室への空調設備の設置を実施します。
- 児童生徒の登下校時の安全を確保するため、スクールバスの効率的で安全な運行体制を検討するほか、家庭や学校、地域、事業所、コミュニティ・スクールなど関係団体が連携して、通学時の見守り体制の維持・強化に努めます。
- 将来的な児童生徒数の推移や地域の人口動態などを踏まえ、望ましい教育環境の整備に向けた学校の統廃合を検討します。

第1章  
第2章  
第3章  
第4章  
第5章  
第6章  
第7章  
第8章  
資料編

## 《 関連するSDGsの目標 》



### ② 全ての子どもの学習機会の保障

- 奨学金の貸与や私立高等学校授業料の補助を継続し、高等教育等への就学機会の確保に努めます。なお、卒業後に本市にUターンした場合の償還金減免制度の運用や国・県で実施している給付型奨学金制度の内容を踏まえながら、実態に即した奨学金制度への見直しを検討します。
- 所得が比較的少なく経済的に厳しい児童生徒の保護者に対し、就学援助制度による給食費や学用品費等の補助を継続するとともに、市内の小中特別支援学校の給食費の段階的な無償化などにより、教育にかかる経済的負担の軽減を図ります。

#### 【 施策の目標値(施策の内容) 】

番号	項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
①	長寿命化改修・大規模改造工事の実施校数	学校施設長寿命化計画に基づく改修工事延べ実施校数	—	14校
①	特別教室への冷房設備設置工事の実施校数	整備計画に基づく設置工事の実施校数	—	11校
②	教育にかかる経済的負担が軽減したと感じている保護者の割合	保護者アンケートにおける回答の割合	—	80.0%以上

#### 関連する個別計画

- 第Ⅳ期妙高市総合教育基本計画(令和2年度～令和6年度)
- 妙高市学校施設長寿命化計画(令和元年度～令和5年度)

## 基本施策3 豊かな心身をつくる環境づくり【生涯学習・スポーツ】

### 主要施策1 人生100年時代の生涯学習の推進

#### 施策の基本方針(5年後の目指す姿)

- 雪国妙高で培われた「妙高市民の心<sup>\*</sup>」を大切にしながら、生涯学習を通して人間力を高め、いきいきと充実した生活を送れるように、多様な学びの環境づくりを進めるとともに、それぞれが持つ知識や技術、経験を地域の活力につなげる仕組みづくりを進めます。

#### 【施策の目標値(主要施策)】

項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
社会教育施設利用者数	社会教育施設の年間延べ利用者数	165,812人	170,000人以上

#### 現状と課題

- ①人口減少や高齢化の進行により地域コミュニティ機能が低下しつつあり、人と人とのつながりの希薄化が懸念されています。このような中、互いをいたわり、思いやり、助け合う「妙高市民の心<sup>\*</sup>」が地域社会を支えていく基盤となります。家庭、学校、地域、事業所が主体となったあいさつ運動などの積み重ねにより、活動の定着が図られていますが、さらなる意識の向上と主体的な行動につながる取組を進めていく必要があります。
- ②市民が生涯を通じて主体的に学び、学びを通して人と人、人と地域とのつながりを深めていけるように、市民ニーズや社会情勢の変化等に応じた多様な学習機会を提供していく必要があります。また、より複雑化する課題と向き合いながら、持続可能な地域づくりを進めていくために、学びで得た知識や技能等を共有し、地域における活力づくりに活かしつつ、さらなる学びへとつながる環境づくりを行うことが重要です。
- ③生涯学習の拠点となる社会教育施設をより利用しやすい施設とし、活動の拡大につなげていくため、計画的な改善、改修による充実を図る必要があります。図書館については、施設の老朽化に加え、現在の設備では多様化する市民ニーズに対応することが難しくなっていることから、生涯学習拠点としての機能やサービスの充実を図るとともに、まちづくりや地域の活性化につながる交流拠点としての機能の充実が求められています。

<sup>\*</sup> 妙高市民の心…家族や地域社会の「絆・つながり」を大切にし、相手を思いやり助け合う心のこと。

## 《 関連するSDGsの目標 》



### 施策の内容

#### ①「妙高市民の心」を基盤としたつながりづくり

○「妙高市民の心」の活動事例や実践事例等の広報活動を積極的に行い、家庭や学校、地域や事業所等が一体となった取組を推進するとともに、「妙高市民の心」を礎として、人と人とのつながり、思いやりを持って互いに安心して暮らせるまちづくりを進めます。

#### ②学びの成果を活かす仕組みづくり

○市民が生涯を通じて学び、活躍できるように、関係機関や各種団体等と連携し、市民ニーズや社会情勢の変化等に応じた学びの機会の提供と充実を図ります。  
○それぞれが持つ知識や技能を地域社会で活かせるように、活動の場や機会に関する情報提供を行うほか、学校や町内会、市民活動団体等とのマッチングなど、地域の人材を活かす仕組みづくりを進めます。

#### ③学びを支える活動拠点の整備・充実

○市民の生涯にわたる学習活動を幅広く支援し、市民ニーズに応じた学びやすい環境を確保するため、社会教育施設の計画的な改善・改修を行います。  
○多くの市民から利用され親しまれる図書館を新たに整備し、本や情報の集積基地として、また、市民の主体的な学びを支え、市民が集い、地域に活力をもたらす交流の場を創出します。

### 【 施策の目標値(施策の内容) 】

番号	項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
①	「オール妙高あいさつ運動」の参加者数	あいさつ運動の1日あたりの参加者数	777人	900人以上
①	「妙高市民の心」推進応援事業所の登録件数	事業所の登録件数	121件	170件以上
②	生涯学習講座「まなびの杜」の受講者数	生涯学習講座の年間延べ受講者数	1,001人	1,800人以上
②	地域活動人材登録者数	地域活動人材の登録者数	326人	400人以上
③	図書館の貸出利用者数	図書館の年間延べ貸出利用者数	27,477人	42,000人以上

### 関連する個別計画

- 第Ⅳ期妙高市総合教育基本計画(令和2年度～令和6年度)
- 妙高市生涯学習推進プラン(令和2年度～令和6年度)
- 「妙高市民の心」推進行動計画(平成23年度～令和2年度)



## 主要施策2 生涯を通じたスポーツ活動の推進

### 施策の基本方針(5年後の目指す姿)

- 幅広い市民のスポーツ活動や運動習慣の定着を図るとともに、スポーツを楽しめる環境や施設の整備・充実により、「総合健康都市 妙高」を推進します。

### 【施策の目標値(主要施策)】

項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
成人における週1回以上のスポーツや運動の実施率	市民意識調査における回答の割合	27.4% (H27生涯スポーツ実態調査)	50.0%以上

### 現状と課題

- ①総合型地域スポーツクラブが行うスポーツ教室やスポーツ大会の参加者は、増加傾向にありますが、市民の身体活動や運動の実践率は、横ばいとなっていることから、スポーツや運動への動機づけと運動習慣の定着を図る必要があります。
- ②競技スポーツでは、選手の育成や各種大会の開催などにより、全国や世界で活躍する選手が輩出されていますが、ジュニア選手は、減少傾向にあることから、競技人口の拡大を図るとともに、指導者の確保や資質の向上などによる指導体制の強化を図り、競技力向上につなげていく必要があります。
- ③妙高市総合体育館や妙高高原体育館、池の平スポーツ広場など、スポーツ施設の整備により、身近で快適に運動できる環境が充実してきましたが、老朽化により不具合が生じているスポーツ施設もあることから、引き続き、計画的な整備や改修を行っていく必要があります。

### 施策の内容

#### ①生涯スポーツの推進

- 子どもから高齢者まで全世代の市民が、ライフステージに応じてスポーツに親しむことができる機会や運動を始めるきっかけを創出し、市民の運動習慣の定着を図ります。
- 妙高の地域資源を活用した妙高型健康保養地プログラムの充実と一層の普及・浸透を図り、市民の健康増進や介護予防を促進します。

#### ②競技スポーツの推進

- スキーをはじめとする競技スポーツに取り組む選手の底辺拡大を図るとともに、指導体制の充実、育成団体と連携したジュニア選手の競技力向上のための取組を進め、全国や世界で活躍するアスリートを育成します。

## 《関連するSDGsの目標》



### ③スポーツ環境の充実

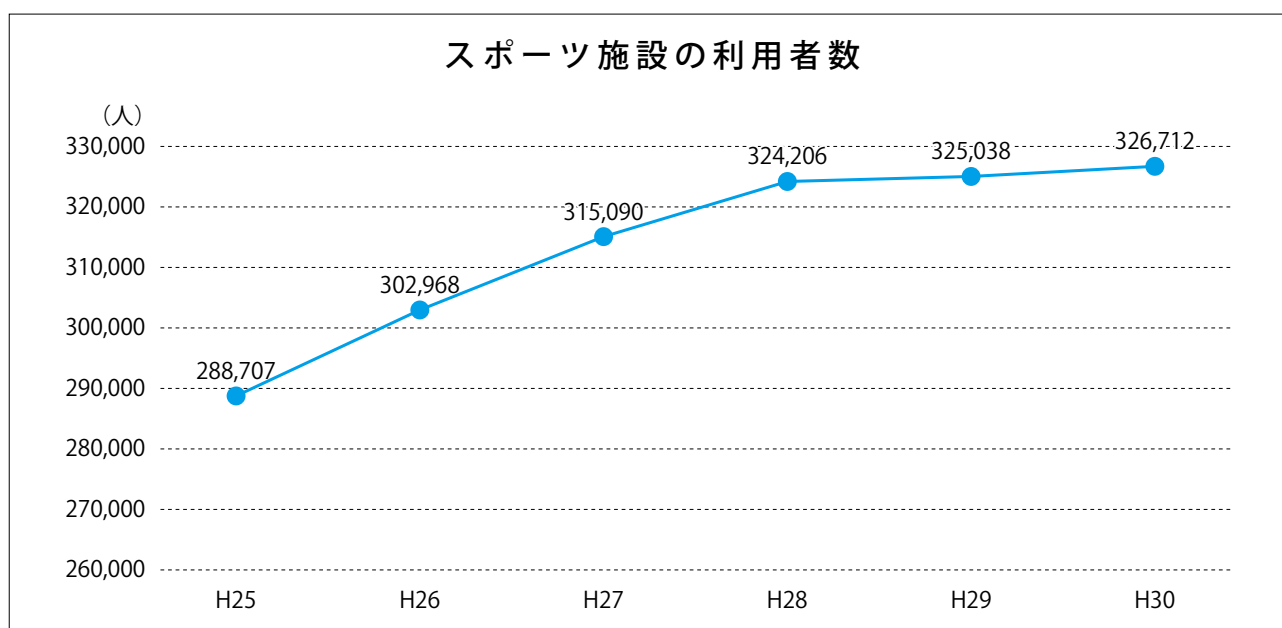
○幅広い年代層の市民や来訪者が快適にスポーツや健康づくりに取り組める環境を提供するため、スポーツ施設の計画的な整備・改修を進めるとともに、利用者が安全に安心して利用できるよう適正な維持・管理を行います。

#### 【施策の目標値(施策の内容)】

番号	項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
①	総合型地域スポーツクラブの利用者数	総合型地域スポーツクラブの年間延べ利用者数	4,342人	4,600人以上
②	ジュニア競技者の大会出場率	市内小中学生のうち県大会以上の大会に出場した者の割合	10.0%	11.0%以上
③	スポーツ施設の利用者数	スポーツ施設の年間延べ利用者数	326,712人	340,000人以上

#### 関連する個別計画

○第IV期妙高市総合教育基本計画(令和2年度～令和6年度)



## 基本施策4 郷土愛を育む文化のまちづくり【文化】

### 主要施策1 歴史文化資源の保存と活用

#### 施策の基本方針(5年後の目指す姿)

- 妙高の特色ある歴史文化資源を地域全体で守り伝え、活用していくとともに、市民主体の芸術文化活動の活発化により、地域の活性化を図ります。

#### 【施策の目標値(主要施策)】

項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
歴史・芸術文化拠点の来場者数	道の歴史館、斐太歴史の里、妙高芸術祭における来場者数	33,886人	37,000人以上

#### 現状と課題

- ①過疎化や少子高齢化の影響により、伝統的な祭りや習俗、農山村の風景、雪国の暮らし等の妙高らしさを表す様々な歴史文化が失われつつあることから、地域の宝である歴史文化資源を地域全体で保存・活用していく取組が必要となっています。また、関川関所道の歴史館や斐太歴史の里総合案内所などの歴史文化資源の活用拠点についても、より多くのかたから訪れていただけるよう機能の充実や環境の改善を図っていく必要があります。
- ②市内の芸術文化団体が減少し、市民の芸術文化に対する関心や実践活動の低下が懸念されていることから、子どもや若者をはじめ、市民が様々な芸術文化に接する機会を充実させるとともに、妙高の特色を活かした事業を展開し、芸術文化活動のきっかけづくりや活発化を促していく必要があります。

#### 施策の内容

##### ①歴史文化の継承と活用

- 歴史文化資源の価値や魅力を市民が認識・共有し、地域の宝として後世に継承し、まちづくりに活かすため、保存と活用に向けた計画づくりや地元での推進体制づくりを進めます。
- 関川関所道の歴史館、斐太歴史の里、関山神社周辺の文化財群など、妙高の特徴的な歴史文化資源の価値の磨き上げを行うとともに、様々な地域資源を結び付けながら、観光資源としての魅力を高め、歴史文化資源の活用による地域の活性化に取り組みます。

## 《 関連するSDGsの目標 》



### ② 魅力ある芸術文化事業の推進

- 妙高文化振興事業団や芸術文化団体と連携して、創作活動や発表の場づくりを支援し、市民の芸術文化への関心を高めながら、活動に参加できる環境づくりを進め、市民の自主的な芸術文化活動を促進します。
- 岡倉天心や東京藝術大学とのつながりを活かした美術展覧会の開催など、特色ある芸術文化活動を促進し、芸術文化による地域の活性化に取り組みます。

### 【 施策の目標値(施策の内容) 】

番号	項目	指標の説明	現況値(H30)	目標値(R6)
①	歴史文化保存活用計画を策定し、地域活性化事業に取り組む地区数	歴史文化保存活用計画を策定し、地域活性化事業に取り組む地区数	—	4地区以上
①	指定・登録文化財数	国・県・市指定文化財数と国登録有形文化財数	85件	90件以上
②	美術展覧会の出品数	四季彩展・市展の出品数	272点	300点以上

### 関連する個別計画

- 第Ⅳ期妙高市総合教育基本計画(令和2年度～令和6年度)
- 妙高市歴史文化基本構想(平成30年度～)
- 名勝旧関山宝蔵院庭園保存管理計画(平成27年度～)